

## 農 林 水 産 業 費

農林水産業費の支出済額は、213,893,827円で、対前年度比327,184,192円、60.47パーセントの減で、歳出総額に対する構成比は0.47パーセントです。

## 6款 1項 1目 農業委員会費

### 農業委員会運営事業

(農業委員会事務局)

決算事項別明細書 189 ページ

予算現額	12,380,000 円		決算額	11,638,351 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	741,649 円			県 支 出 金	1,720,000 円
前 年 度 比 較	決算額			14,844,603 円	地 方 債
	増減額	△3,206,252 円	そ の 他	295,400 円	
	増減率	△21.60%	一 般 財 源	9,622,951 円	

#### <目的>

農業委員会は、農業委員会等に関する法律第3条及び地方自治法第202条の2に基づき、市町村から独立した行政委員会として設置され、農地制度に関する事務等を公平・中立に執行しています。また、地域の農業者の公的代表機関として、農地の確保・有効利用と担い手の確保・育成を図ります。

#### <内容>

総会を毎月1回会長が招集し、農地法等の法令に関する事項について審議しています。

農地パトロール（耕作放棄地の実態調査等）を地区の農業委員とともに実施し、規模拡大を目指す農家への集積を図っています。

独立行政法人農業者年金基金より受託した農業者年金に関する業務を行っています。

#### <実績・成果等>

農業委員会の総会を12回開催し、農地法に基づく農地の権利移動の許可、農地転用申請への意見具申などの審議を中心に、農地に関する事務を執行しました。また、農地の有効利用と流動化の推進のため、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画について決定しました。そのほか耕作を放棄し荒地となっている農地につき、現地調査のうえ所有者等に勧告し、是正指導しました。

##### 1 農地法に基づく処理状況

- (1) 第3条関係（権利移転等）取扱件数12件 許可12件 11,688.00 m<sup>2</sup>
- (2) 第4条関係（転用）取扱件数36件 許可8件 2,329.00 m<sup>2</sup> 届出28件 10,757.53 m<sup>2</sup>
- (3) 第5条関係（権利移転等を伴う転用）取扱件数98件 許可30件 53,909.39 m<sup>2</sup>  
（一時転用4件 1,062.00 m<sup>2</sup> 含む）届出68件 28,984.08 m<sup>2</sup>

##### 2 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定・移転 24件 47筆 72,333.00 m<sup>2</sup>

- 内訳○賃貸借17件38筆 56,413.00 m<sup>2</sup>○使用貸借6件8筆 14,886.00 m<sup>2</sup>
- 所有権移転1件1筆 1,034.00 m<sup>2</sup>

##### 3 各種証明件数 農家・耕作証明等 119件

##### 4 その他

- (1) 農家相談定例12回 その他随時実施延べ111件
- (2) 遊休農地に関する利用意向調査及び農地指導対象件数105筆 87,432 m<sup>2</sup>
- (3) 農業者年金加入者数139人（うち12人は被保険者数）
- (4) 機関誌「さやま農委だより」発行年1回 全農家配布

## 6款 1項 3目 農畜産業振興費

### 畜産業支援事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 191 ページ

予算現額	1,027,000 円		決算額	532,604 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	494,396 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			970,637 円	地 方 債	
	増減額			△438,033 円	そ の 他	
	増減率	△45.13%	一 般 財 源	532,604 円		

#### <目的>

市内畜産業の健全なる発展と経営の安定化を促進するため、伝染病の予防や畜舎及びその周辺の環境保全を図ります。

#### <内容>

家畜自衛防疫事業を補助し、畜舎の環境衛生保全用の薬剤購入費を補助します。

#### <実績・成果等>

##### 1 家畜自衛防疫事業

畜産業へ大きな被害を及ぼす伝染病等を防ぎ、農家の自主的な防疫活動の促進を図るため、次の事業を実施しました。

家畜自衛防疫事業費補助金 38,000 円

##### 2 畜舎環境整備事業

都市化の進展に伴い一般住宅との混在化が進む中、畜産公害の防止及び経営の安定化を図るため、次の事業を実施しました。

畜産環境保全用薬剤購入費補助金 346,000 円

## 6款 1項 3目 農畜産業振興費

### 農業振興事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 191 ページ

予算現額	13,175,000 円		決算額	12,155,160 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,019,840 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	2,595,555 円	
前 年 度 比 較	決算額			363,679,312 円	地 方 債	
	増減額			△351,524,152 円	そ の 他	
	増減率	△96.66%	一 般 財 源	9,559,605 円		

#### <目的>

環境に配慮した特別栽培農産物認証制度、エコファーマー制度等の導入を推進し、有機栽培作物等の安全安心な付加価値の高い農作物の生産向上を促進し、農産物の直売や、消費者との交流に代表される観光農業の活動を強化することが必要です。また、消費者ニーズを反映した農業振興を図るためにも、各種イベント等を通じて生産者と消費者の相互理解・相互協力を促進します。

#### <内容>

農業経営基盤の安定化、野菜の品質向上、また安全・安心な農産物を提供することを目的とし、主に農産物の生産力強化支援や狭山市農業祭を行います。

#### <実績・成果等>

- 1 狭山市農業祭  
市内の農業の魅力を伝えるとともに、当市の農業振興に資することを目的として、平成27年11月22日(日)に狭山市農業祭を実施しました。  
狭山市農業祭補助金 1,700,000 円
- 2 野菜産地強化整備支援事業  
産地間競争に強い野菜産地の育成を図るため、埼玉野菜(ごぼう、水菜、ほうれん草等)の生産拡大や高品質化に必要な農業機械の導入を目的とする農業者団体に対して補助を行いました。  
野菜産地強化整備支援事業費補助金 1,000,000 円
- 3 農業制度資金利子助成金  
経営意欲と能力がある農業の担い手が、経営改善を図ろうとする場合に借り受けた長期資金の金利負担を軽減し安定的な経営を支援するため利子助成を行いました。  
農業制度資金利子助成金 1,525,809 円
- 4 農業振興団体育成補助金  
農業団体の育成のため、3団体へ運営費の補助を行いました。  
農業振興団体育成補助金：175,000 円

## 6款 1項 3目 農畜産業振興費

### 狭山茶消費拡大振興事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 191 ページ

予算現額	4,551,000 円		決算額	4,547,734 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	3,266 円			県 支 出 金	1,145,000 円
前 年 度 比 較	決算額			4,989,384 円	地 方 債
	増減額	△441,650 円	そ の 他		
	増減率	△8.85%	一 般 財 源	3,402,734 円	

#### <目的>

「特産」狭山茶の生産性と品質の向上を図るとともに、茶葉の加工品等の開発を促進し、狭山茶ブランドの確立・普及に取り組み、消費拡大を図ります。

#### <内容>

茶樹の優良品種への改植を促進し、狭山茶の品質・生産性の向上を図ると共に、各種イベントなどに参加し、狭山茶のPR・消費拡大を推進します。また、茶樹改植推進事業、狭山新茶と花いっぱいまつり、狭山新茶の試飲PR、茶品評会を行います。

#### <実績・成果等>

##### 1 茶樹改植推進事業

茶園の生産性と生葉の品質向上を図るため、12,194本の茶樹の改植について、補助を行いました。  
事業主体 狭山市茶業協会 茶樹改植推進事業費補助金 460,000 円

##### 2 茶業振興事業

各種茶品評会の開催及び、全国・関東・県主催の茶共進会対策について、補助を行いました。  
事業主体 狭山市茶業協会 茶業振興事業費補助金 494,000 円

##### 3 狭山新茶と花いっぱいまつり

狭山茶のPRのため、新茶の販売、茶摘み体験等の狭山新茶と花いっぱいまつりを共催しました。  
事業主体 狭山新茶と花いっぱいまつり実行委員会  
狭山新茶と花いっぱいまつり補助金 760,000 円

##### 4 狭山茶信頼回復・消費拡大事業

市内外の各種イベントにて、狭山グリーンティスタッフを活用しての湯茶接待や狭山茶の販売を行い、狭山茶の信頼回復を図るとともに、横断幕等でのPRや小学校でのお茶の講座、T-1グランプリなど、消費拡大につながる事業を実施しました。  
事業主体 狭山市茶業協会 狭山茶信頼回復・消費拡大事業費補助金 1,000,000 円

##### 5 茶・地域特産物振興総合対策事業

乗用型防除機械の導入により、茶樹の防除における省力化、時間短縮ができたほか、手作業で行う防除と比較し、無駄な薬剤の削減及び有効な防除をすることができ、このことより経営の安定化と生産性の向上が図れました。  
事業主体 北入曾茶葉防除組合 茶・地域特産物振興総合対策事業補助金 1,145,000 円

##### 6 狭山茶消費拡大促進用まんがを作成

急須で飲むお茶のおいしさをPRしていくために「別冊さやま おしえて狭山茶～おいしい淹れ方編～」を作成し、35,000部発行しました。  
狭山茶消費拡大促進用まんが作成謝礼金 109,000 円  
狭山茶消費拡大促進用まんが作成業務委託金 498,960 円

## 6款 1項 3目 農畜産業振興費

### 学童農業体験事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 193 ページ

予算現額	1,630,000円		決算額	1,478,000円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	152,000円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,401,000円	地 方 債	
	増減額			77,000円	そ の 他	
	増減率	5.50%	一 般 財 源	1,478,000円		

#### <目的>

生産地と消費地が混在している当市農業にとっては、消費者の農業への理解と協力が不可欠であるため、子どもたちの農業についての意識を高め、農業者等の指導を受け、できるだけ多くの生産プロセスを体験する、農業の体験活動の取組を推進することが必要です。

#### <内容>

子どもたちが土と親しみながら作物を育て、その収穫の喜びを味わうなど、体験を通じ、農業の大切さを実感できるよう、保育所、幼稚園、小中学校において、農業体験事業を実施します。

また、平成26年度新規事業「学童農業体験指導農業者連携推進事業」により、学校等が指導する農業者の協力・連携のもと農業体験活動を更に充実できるよう支援を行います。

#### <実績・成果等>

##### 1 学童農業体験事業

市内14保育所、3幼稚園、15小学校、7中学校の計39校において、農業体験事業を実施し、平成27年11月22日(日)に開催された狭山市農業祭で、生産した野菜等の作品展示を実施しました。

学童農業体験事業委託料 1,223,000円

##### 2 学童農業体験指導農業者連携推進事業

学童農業体験事業参加校の内、いるま保育会、西中学校、東中学校の3校が実施する農業体験事業について、補助を行いました。

学童農業体験指導農業者連携推進事業補助金 255,000円

## 6款 1項 4目 農地費

### 上奥富堰災害復旧事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 193 ページ

予算現額	40,965,000 円		決算額	13,658,880 円		
翌年度繰越額	27,166,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	140,120 円			県 支 出 金	10,944,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			21,127,600 円	地 方 債	
	増減額			△7,468,720 円	そ の 他	
	増減率	△35.35%	一 般 財 源	2,714,880 円		

#### <目的>

台風により、被災を受けた上奥富堰の災害復旧工事を実施し、用水への安定的な取水を確保することを目的とします。

#### <内容>

農地農業用施設災害復旧事業として、国の補助を受けて、設計業務委託と工事を実施します。

#### <実績・成果等>

上奥富堰災害復旧事業として、実施設計業務を行い、国の補助金交付を受けて工事発注しましたが、資材の入手難により、翌年度に繰り越しました。

#### 設計委託料

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料	摘 要
上奥富堰災害査定及び実施 出来高設計業務	狭山市大字上奥富地内	円 0	契約額4,860,000円 は、翌年度へ繰越明許

#### 工事請負費

工 事 名	工 事 場 所	工 事 費	摘 要
上奥富堰災害復旧工事	狭山市大字上奥富地内	円 12,000,000	工事前払金 前払金以外は、翌年 度へ繰越明許
上奥富堰応急仮工事	狭山市大字上奥富地内	円 859,680	
上奥富堰布団籠補強工事	狭山市柏原地内	円 799,200	

## 6款 1項 4目 農地費

### 農業施設管理事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 193 ページ

予算現額	11,296,000 円		決算額	11,126,408 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不用額	169,592 円			県支出金	
前年度 比較	決算額			3,558,837 円	地方債
	増減額	7,567,571 円	その他	5,400,000 円	
	増減率	212.64%	一般財源	5,726,408 円	

#### <目的>

農業水利施設の適正な維持管理と老朽化への対策実施により、農業生産の維持、農業経営の安定化を図ることを目的とします。

#### <内容>

土地改良事業により整備された施設の適正な維持管理を行います。

#### <実績・成果等>

- 1 農業水利施設の維持管理として、施設の修繕工事を実施しました。

工事名	工事場所	工事費	摘要
田島屋堰取水ゲート整備補修工事	狭山市広瀬東2丁目地内	6,264,000 円	
奥富地区農業水利施設維持修繕工事	狭山市大字上奥富・下奥富地内	837,000 円	
柏原上沢地区排水管修繕工事	狭山市柏原地内	238,680 円	

- 2 農道の側溝及び浸透井の清掃業務委託を実施しました。

委託名	委託場所	委託料	摘要
農道側溝等清掃業務委託	狭山市大字堀兼地内	1,004,400 円	
農道浸透井等清掃業務委託	狭山市大字上赤坂地内	756,000 円	
農道産業廃棄物(汚泥)処分業務委託	—	477,273 円	単価契約 34,560 円/t

- 3 用水組合による用・排水路の清掃活動及び大雨時の水門操作等を実施し、狭山市農業振興事業費補助金交付要綱に基づき、用水組合(狭山市用水組合連合会ほか6組合)に対して補助金を交付することにより、農業施策の推進を図りました。

用水組合事業費補助金 600,000 円



## 6 款 1 項 5 目 農村環境改善センター費

### 農村環境改善センター管理事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 195 ページ

予算現額	10,244,000 円		決算額	9,681,567 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	562,433 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	10,271,270 円		地 方 債	
	増減額	△589,703 円		そ の 他	621,880 円
	増減率	△5.74%	一 般 財 源	9,059,687 円	

#### <目的>

農業行政の一環として、地域農業振興の拠点的な施設である農村環境改善センターの利用に関することや、施設維持などの管理業務を適切に行います。

#### <内容>

施設の利用許可に関することや施設機能の維持と修繕を行います。

#### <実績・成果等>

区分	多目的ホール		農事研修室		生活改善室		会 議 室		料理実習室		合 計	
	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
4月	51	716	24	521	14	69	21	149	21	235	131	1,690
5月	47	1,241	23	655	17	336	11	209	18	214	116	2,655
6月	56	2,354	32	1,448	28	367	18	283	33	585	167	5,037
7月	56	1,111	26	897	24	444	15	150	33	554	154	3,156
8月												
9月												
10月												
11月												
12月	25	716	16	390	21	595	9	144	47	882	118	2,727
1月	22	353	14	391	17	146	9	149	18	216	80	1,255
2月	33	852	11	224	13	102	4	52	33	328	94	1,558
3月	74	1,994	15	479	40	1,257	18	404	18	242	165	4,376
計	364	9,337	161	5,005	174	3,316	105	1,540	221	3,256	1,025	22,454

8月から11月は、空調改修工事のため閉館

## 6 款 1 項 5 目 農村環境改善センター費

### 公共建築物改修事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 195 ページ

予算現額	36,000,000 円		決算額	35,942,400 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	57,600 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	2,808,000 円		地 方 債	
	増減額	33,134,400 円		そ の 他	25,000,000 円
	増減率	1,180.00%	一 般 財 源	10,942,400 円	

#### <目的>

農村環境改善センターは昭和 60 年に開所し、老朽化が進んでおり、安全に快適に施設利用するために、計画的に改修を行います。

#### <内容>

市が所有する公共建築物について、必要な改修を計画的に実施していくために策定した公共建築物改修計画に基づき、改修を計画的に実施します。

#### <実績・成果等>

経年劣化により冷暖房空調設備の改修が必要なため、空調改修工事を行いました。

##### 1 空調改修工事

(1) 空調設備改修工事費 35,942,400 円